

教員免許状更新講習

教科指導・特別活動・学級経営に生かす体験活動

(富山大学との連携事業)

1 ねらい

学校教育の課題となっている子供たちのコミュニケーション能力不足に対応するため、体験学習を取り入れた人間関係作りの方法を身に付ける。また、自然体験活動の指導・技術を身に付け、体験活動の重要性について体感するとともに、学級作りに役立つ体験活動を活用した指導法について学ぶ。

2 期日

平成29年8月8日(火)～10日(木) 2泊3日

3 対象

幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭等

4 参加人数／募集人数

42名／40名

5 講師・スタッフ

富山大学人間発達科学部 准教授 林 衛 氏
 金沢大学大学院教職実践研究科 教授 松本 謙一 氏
 国立立山青少年自然の家 研修指導員 岩城 俊平 氏
 国立立山青少年自然の家 次長及び企画指導専門職



6 日程

	午前	午後	夜
8月8日(火) 1日目		開講式(13:20～) 講義「学習指導要領と体験活動」 講義「体験活動のねらいと環境構成」	講義・実習 「体験活動と人間関係づくり」 講義「体験活動と危機管理」
8月9日(水) 2日目	講義・実習 「組織的な活動を目指して」	講義・実習 「自然体験活動(来拝山登山)」	講義・実習 「天体観測の方法と指導」
8月10日(木) 3日目	講義・実習 「体験活動と評価」 「体験活動での支援の在り方」 履修認定試験 閉講式(11:45～)		



7 参加者からの感想

- 3日間の研修を通して、子供たちに豊かな体験をさせたいと思いました。①子供たちが夢中になれる自然体験②仲間のことを考えて過ごす学校づくり、学級づくり
- 世の中が変化し、子供たちの生活が変化してきた今だからこそ、自然体験活動を宿泊学習や総合的な学習の時間に取り入れていきたいと思いました。
- 危機管理では、最悪の事態を想定し、危険を察知する感度を高めていきたいと思いました。安全管理、安全教育を行い、学びの場を保証することも大切だと感じました。

8 成果

- 参加者のアンケートでは多くの方から「満足」の評価をいただいた。講師の先生方からたくさん学ぶことができたことあり、学校現場に戻った時に生かすことができるものをたくさん得られたようであった。時間的なゆとりもあり充実した3日間を過ごしていただくことができた。

9 今後の課題

- 天候により、講義、実習の時間が超過することがあった。宿泊研修であるとはいえ参加者の負担にならないような時間配分、運営をしていかななくてはならない。